



事業者：岐阜市（岐阜市中央卸売市場）

計画概要

岐阜市中央卸売市場は、岐阜県唯一の中央卸売市場であり、県内市場流通量の8割を担う基幹市場である。トラック待機時間や温度管理環境等の課題解決のため、荷捌き場新設による物流効率化や、卸売場・冷蔵庫施設の断熱性向上による品質・衛生管理の高度化等に取り組む。

目標

場内物流の効率化により、トラックドライバーの待機時間に係る物流コストを、現状の**39,761**千円から令和18年度に**36,440**千円まで削減する。

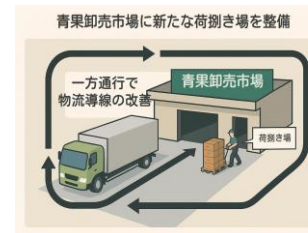
食料システムへの寄与

トラックドライバーの待機時間を削減し、輸送に要する時間やコストを削減する事で、生産者の利益確保に繋がり、農林漁業の成長発展に寄与する。また、生産者の利益確保や品質・衛生管理体制の向上により選ばれる市場となり、取扱数量の減少を抑制する事で、健全な市場経営の持続を可能とし、一般消費者に安全安心な生鮮食料品等を安定的に供給することに寄与する。

計画のイメージ

- 1 荷捌き場不足等により路上荷捌きやトラック待機時間が発生するなど場内物流に課題
- 2 既存施設の仕様は、夏期の温度管理や災害発生時の業務継続性に課題

市場整備概要



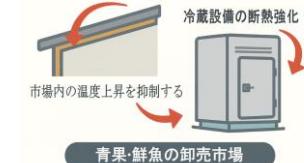
[荷捌き場新設]

- ・物流効率化
- ・品質・衛生管理の高度化

[施設内の断熱性能向上]

- ・品質・衛生管理の高度化

施設内の断熱・防水性の強化



[非常用電源の整備]

- ・防災対策

[舗装塗装・附帯設備の再整備]

- ・物流効率化
- ・防災対策

(2026年4月16日認定)